

2 0 2 2 年 3 月 2 日

(報道発表資料)

申 間 市
宮 崎 県 森 林 組 合 連 合 会
西日本電信電話株式会社 宮崎支店

宮崎県内初のデジタル林業の社会実装

～串間市における森林デジタル計測結果を用いた公売事業（市有林）の開始について～

宮崎県串間市（市長：島田 俊光、以下串間市）は、宮崎県森林組合連合会（代表理事会長：長友 幹雄、以下宮崎県森連）、西日本電信電話株式会社宮崎支店（支店長：柴畑 秀哉、以下 NTT 西日本）と連携し、串間市が所有する森林において、宮崎県森連および NTT 西日本が森林資源情報を無人航空機（UAV）によるデジタル計測方法（以下、ドローンレーザー）で計測し、ICT で解析したデジタル森林資源情報に基づいて、市有林の公売を開始します。なお、このドローンレーザーによるデジタルデータを市有林の公売に活かす試みは全国的にみても先進的な取り組みとなり、宮崎県内においては初の取り組みとなります。

1. 概要

現在、森林資源調査業務の省力化を目的として、各自治体および事業者によるドローンレーザーを活用した森林資源情報のデジタル計測技術が普及してきている一方、計測したデジタルデータの活用が課題となっており、林業実務への具体的な実装が求められています。

こうした背景のもと、串間市は市有林におけるドローンレーザーを活用した森林資源調査業務（以下、本事業）を、宮崎県森林組合連合会に委託し、計測したデジタルデータに基づく市有林の公売業務に着手しました。

本事業においては、これまで宮崎県森連、NTT 西日本、宮崎大学で連携して培った森林デジタル情報解析技術を活用しております。NTT 西日本が保有する AI（人工知能）を用いた森林の三次元情報等の解析技術や可視化技術を基に、宮崎県森連と NTT 西日本が連携してデジタルデータ化した森林資源情報を作成しました。ドローンレーザーによるデジタル計測データを市有林の公売に活かす試みは全国的にみても先進的な取り組みとなり、宮崎県内においては初の取り組みとなります。

2. 公売説明会 実施日

2 0 2 2 年 4 月 6 日（水）

3. 今後の展開

本事業を契機とし、森林資源情報のデジタル計測データの活用を促進し、持続可能な林業の共創に向けて更なる森林林業 DX（デジタルトランスフォーメーション）による生産性向上や新たな価値の創造に取り組めます。また山林の適切な新陳代謝サイクルがもたらす CO2 吸収によるカーボンニュートラル社会の実現に向け、産官学一体となって地域社会に貢献する取り組みを推進していきます。

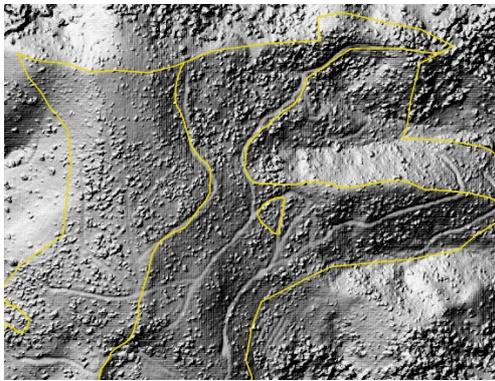
* ニュースリリースに記載されている情報は、発表時点のものです。現時点では、発表日時点での情報と異なる場合がありますので、あらかじめご了承くださいとともに、ご注意をお願いいたします

《参考》

◆オルソ画像による解析



◆レーザー点群による解析



◆現場の様様

